大仙市立中仙小学校学校報　令和５年度　NO.１８　令和５年９月１日

夢に向かって　笑顔いっぱい　みんなでチャレンジ

輝く ひとみ

“楽らく 笑SHOW”な学校　なか１０００笑楽校

まんず　飲んでけれっ

９月は前期の集大成　“楽SHOW”な学習発表会へ！

本当に、これまで誰も経験したことのない、東京よりも暑い８月でした。「３５度」という気温にも見慣れてしまいました。道の駅では、「４０」の日もありました。

学校でも、さまざまな疲れが出ている子どもや、感染症でお休みしている子どもたちもいて、毎日の健康観察をていねいに行っているところです。市内の学校では、８月３１日の新型コロナウィルス感染症による出席停止中の子どもが１７０人を超えています。まだまだ、感染予防が必要です。１６日の学習発表会に向けて、全員が参加できるように、各ご家庭でも予防対策の徹底をよろしくお願いいたします。

“楽笑タイム”　水遊び

楽しい学校をリードしてくれている楽笑委員会の主催で、８月２９日（火）に「水遊び」が行われました。水着を下に着たり、そのまま水着で登場したりして、水鉄砲で的当て遊びをしながら、だんだん「的が友だち」になっていって、大盛り上がりでした。

きれいな色水遊びでも、最初はいろんな色を作って美しさにほれぼれしていましたが、やはり、だんだん色水も「友だちとかけ合うもの」に変わっていきました。

このように『へっへど』遊ぶ時間って大切だし、おもしろいですね。

みんなのがんばり

大仙市読書通帳　（７／３１付け表彰分）

４００冊賞

２００冊賞

１００冊賞

授業研究会・指導主事訪問　道徳

夏休みが明けて、猛暑の中での月曜日の研究授業！幾分おとなしめの子どもたちでしたが、『心を育てる学校』の核となる『道徳』の授業研究会がありました。

３年生　「温かい心を大切に」（親切、思いやり）

水害にあって、困っている子どものために、自分が１番好きな宝物の絵本をあげるクマタの本当の「やさしさ」や「親切な心」について考える授業でした。

初めに自分のタブレットで、心の色合いを見える化してから、３人グループで友だちの考えに触れていくことで、温かい心の中をいろんな面から捉えて考えることができていました。

子どもたちが、自分たちで今日考えたいことを決めていくという、子ども主体の道徳授業へのチャレンジに、指導主事の先生も感心していました。また、子どもたちの学習規律の確かさや、３年生としての「書く力」の豊かさにもびっくりしていました。

４月から５か月での中学年としての学級力の成長ぶりや、個々の子どもたちの伸びに、先生方もびっくりしていました。私も、みんなが「自分なりの考え」をもっていること、そして、それを「自分の言葉」で表現できることに感心しました。

５年生　「役割を果たす」（よりよい学校生活、集団生活の充実）

学校の自慢であるプランターの花やひまわりへの水やりを担う環境委員会の子どもが、だんだんと自分の仕事をさぼるようになりました。あるる日、同級生が一生懸命に委員会活動をがんばるる姿を見て、自分の役割を果たすことの大切さを自覚していくという話です。

今年から委員会活動や縦割りの副リーダーとしてがんばる５年生にとって、まさに自分事！最近、花壇の水やりや委員会活動をなまけ気味の人たちにも、刺激のある授業だったようです。

先生と子どもたちの関係がよく、適切な緊張感と開放感を兼ね備えた５年生教室の雰囲気がとても素敵でした。一人の発表を全員が丁寧に聞いてあげること、自分で考える場面ではじっくり課題に向き合い、学び合いの場面では、どんどん自分の考えに友だちの考えを付け足すあたりもさすがでした。

「ワイワイらんど」から参観してくださった先生も、５年生が１才の頃から知っている子どももいるようで、感動しきりでした。

そして、何よりも、東北吹奏楽コンクールを明日に控えた指揮者でもある先生のがんばりに拍手！　ブラボー！